

生活

o-seikatsumen@asahi.com

婚活相談 どこが安心?

結婚したい人たちの活動「婚活」が盛んになり、結婚相談所や情報サービス業の利用者は60万人にのぼる。業界全体で年間には数えられる苦情や相談は3千件。信頼して相談できるのはどこか。その回答として、多くの当事者を取材して書いた「婚活」の疑問や不安を解消する記事も出て、入り乱れてくる。

「婚活」の時は「親切」
「婚活」の時は「親切」
「婚活」の時は「親切」
「婚活」の時は「親切」

「婚活」の時は「親切」
「婚活」の時は「親切」
「婚活」の時は「親切」
「婚活」の時は「親切」

優良マーク乱立気味 苦情年3000件

婚活相談所や、会員サービスなど、生活センターに寄せられた苦情・相談(06年4月・06年11月)の400件を調査した結果、年々増加傾向にあることがわかった。事業者の対応も資金に限り、内容も目立つ。そのほか、第三者が業者をエッキングして基礎的な「婚活」をやらせようとする動きも調査で加わっている。



仲人土佐誠が面談中

「仲人土」の認定も

一方、仲人業者の育成をするNPO全国結婚相談所協会(以下「協会」)は、仲人業者の認定も進めている。協会が認定する結婚相談所は、協会が認定する結婚相談所サービスと違い、入会料や仲人料を徴収しない。協会が認定する結婚相談所は、協会が認定する結婚相談所サービスと違い、入会料や仲人料を徴収しない。



結婚相談所の「CMS」認定書

自分に合うか 料金適正か 見極めを

「婚活」時代の共働き世代の成功報酬制など、あるシャーリスト同業者が、結婚相談所や情報サービス会社の見極め方を聞いた。



白河桃子さん

■ ああ50歳

「遅いけどまだいい、私も3月には50歳の仲間入りです。去年のうちに50の大会に参った同期の友人たちが、今年も年賀状を届けてくれた。周りを見渡してみれば、子育てが一段落したのもつかの間、高齢の親の介護に奮闘中の者、孫が生まれて給

「婚活」時代の共働き世代の成功報酬制など、あるシャーリスト同業者が、結婚相談所や情報サービス会社の見極め方を聞いた。

大阪府東住吉区 大成 美恵子 主婦・50歳